

ご挨拶

岐阜県立大垣特別支援学校

校長 守屋 朋伸

岐阜県立大垣特別支援学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

令和8年4月に着任いたしました校長の守屋 朋伸と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

当校は、養護学校義務制が始まる以前の昭和49年に大垣養護学校として開校し、今年度で創立54年目を迎える歴史と伝統ある特別支援学校です。開校当初は、知的障がいのある児童生徒を対象とした小学部、中学部設置の養護学校としてスタートしましたが、その後、昭和55年に高等部を設置、平成29年には、新たに肢体不自由、病弱を対象として加えた総合型の特別支援学校となり今日に至っています。令和8年度は、小学部20名、中学部15名、高等部44名の新入生を迎え、小学部151名、中学部57名、高等部129名、全校児童生徒337名が新たな学校生活をスタートしました。

当校は、「強く 明るく 仲良く」を校訓に、学校教育目標「児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育を行うことにより、一人一人の可能性を最大限に伸ばす。さらに「強く 明るく 仲良く」生きようとする意欲を高め、一人一人の自立と社会参加を目指し、基礎的・基本的な力を身に付け、生きる力を育む」を掲げ、日々の教育活動に取り組んでいます。

当校での教育活動をとおして、児童生徒が自分の夢や目標の実現に向けて、自分らしく、生き生きと生活する姿の広がりを願いながら、学校、家庭、地域、関係機関の皆様との連携やつながりを大切にしながら、今年度も全職員が一丸となり教育活動を進めてまいります。今年度は、小学部、中学部、高等部の一貫した系統性のある特色ある教育活動の展開、家庭、地域、関係機関の皆様と連携、協働した教育活動の充実、西濃地域の特別支援教育の拠点を担う教員の専門性向上と魅力ある授業づくりなど、一人一人の児童生徒の教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育の実現に取り組んでまいります。また、児童生徒の命と人権を何よりも大切に、安全と健康を守る教育環境づくりや教育の推進をしてまいります。

今後とも、「障がいのあるなしに関わらず、誰もが暮らしやすい社会にしたい」という夢をもつ大垣特別支援学校、児童生徒を温かく見守っていただくとともに、児童生徒や卒業生がそれぞれの地域社会の中で、自分らしく、それぞれの役割を果たし暮らしていける「共生社会」の実現に向けて、皆様方の変わらぬご支援ご協力の程、よろしくお願いいたします。